

▶平成20年5月15日(木)

今回から，森野福郎君という生徒が登場します。

先生のいうことを非常にすなおに学びます。そして，非常に素直に間違えます。

「教え方の難しさ」を福郎君が教えてくれます。

「森野福郎君の数学レッスン」の始まりです。

きょうは「**文字と式 積の表し方**」の学習です。

森野福郎君のノートをのぞいてみましょう。

$$(1) c \times b = b c \quad (2) a \times (-2) = a - 2$$

先生：「おい！おい！ $a \times (-2) = a - 2$ はないだろう！」

福郎：「え！でも，先生は \times の記号は省略するって教えてくれたでしょ。

$a \times (-2)$ の \times を省略すると $a - 2$ にしかないんだけど。」

先生：「でも，数字は文字の前に書くて，その次に教えたでしょ。」

福郎：「あっ，そうだった，忘れてた。じゃ， $(-2)a$ だ。」

先生：「 $(-2)a$ のかっこはいらないでしょ。」

福郎：「どして？」

先生：「あってもなくても同じだから。」

福郎：「じゃあ，あってもいいわけだ！」

先生：「# \$ % & ? ? ? ... **むっ！**」

という先生のありがたい教えを，福郎君，賢くも学びとって...

(ノートの続き)

$$(3) \quad \times 2 \times 3 = 2 3$$

先生：「# \$ % & ? ? ? ... **ムッ！ムッ！！**」

福郎：「だって，先生は， \times は省略して数字は文字の前に書けて...。」

先生：「だ～めだ，こりゃ！！！」

ジャン！ジャン！ \ (*^_^*) / ! (^o^) !

というような福郎君にならないために

「文字を使った積の表し方」をしっかりと学びましょう。

◀ **【 まちがいをさせない教材 】** ▶

インターネットを使った通信教育用教材(生徒の自学自習用教材)の紹介です